



第120回日本皮膚科学会総会

The 120th Annual Meeting of the Japanese Dermatological Association

2021年 6月 11日 (金) 11:20 ~ 12:20

会場 第5会場 (パシフィコ横浜 3F 301)

SCCA2:小児のアトピー性皮膚炎に対する 新規バイオマーカー

座長

秀 道広

先生

広島市立広島市民病院 病院長



演者

出原 賢治

先生

佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野 教授

本ランチョンセミナーは整理券制です。

- 発券場所：パシフィコ横浜 会議センター 1F エントランスホール
- 日 時：6月11日（金）7：10～10：50（アプリ 8：10～10：50）
- ※発券は、定員になり次第終了いたします。
- ※整理券（弁当券）はセミナー開始5分後に無効となりますのでご注意ください。

共催

第120回日本皮膚科学会総会

株式会社 シノテスト

SCCA2:小児のアトピー性皮膚炎に対する 新規バイオマーカー

佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野 教授

出原 賢治 先生

アトピー性皮膚炎においてはIgE、好酸球、TARCなどがバイオマーカーとして利用されており、中でもTARCは治療薬の効果判定において有用である。しかし、TARCは小児において成人に比べて高値を示し、年齢により基準値が異なる弱点を持っている。我々は、IL-4/IL-13の誘導分子であるSCCA2に注目して、アトピー性皮膚炎におけるバイオマーカーとしての有用性を検討してきた。その結果、SCCA2は重症度に比例しながら、アトピー性皮膚炎患者血清において上昇していた。重要なことは、SCCA2は年齢による大きな変動が見られないため、TARCに比べて小児のアトピー性皮膚炎の診断能において優れている点である。以上の結果を受けて、2019年末にPMDAより製造販売承認を受け、本年2月1日より保険収載された。本セミナーでは、SCCA2の特徴、バイオマーカーとしての有用性について御紹介する予定である。